通関士本試験総評と科目別の分析

《総 評》

今回の通関士試験については、難しいと感じられた方が多かったと思われる。特に、例年合否を分けている第3科目目(通関実務)について、従来にはない「意欲的な」出題がされており、点数が取りにくかった上、本試験会場において2箇所の訂正がされるという前代未聞の出来事もあった。

通関業法については、例年並みの問題であり、オーソドックスな勉強をしっかりやっていれば、十分に合格点(例年6割)が取れる内容であった。関税法等については、択一式、複数選択式の問題中に難問があり、解きにくかった。「語群選択式」の問題が基本的な知識で解けるものであり、ここでどれだけ点数を取れたかで合否が分かれたと思われる。

また、今回の本試験においては、配点の変更があり、一部の問題の配点が倍になった ことも合否に影響することとなったと考えられる。

全体としては、やはり基本的な問題をいかにミスなく得点できたかがポイントであったが、現場で問題文をしつかりと読み取ることが従来以上に重要であったと考えられる。

《科目別の分析》

【通関業法】

満点が40点から**45点に変更**された。

語群選択式は、内容は基本的であり、出題分野も十分に予測できる範囲であった。ここで満点近い得点を狙うことは可能であった。

複数選択式(5点から10点に変更)・択一式についても、満点は難しいが、基本的な 事項をしつかりと記憶していれば、高得点が狙える内容であった。

【関税法等】

満点が50点から**60点に変更**された。

語群選択式において、関税法から4問、関税定率法(減免税)から1問という出題であった(昨年は関税法から3問、関税定率法等から2問)。関税法からの出題が多かったが、内容は基本的であり、高得点を狙いたい問題であった。

複数選択式(10点から20点に変更)は、かなりの難問も見られた(第6問等)が、基本的な事項からの出題も多かった。択一式は全体的に難問が多め(第19問,第21問,第28問等)であり、また、「0」解答の問題が多かったため、点数が取りにくかった。貨物分類知識に関する問題(第24問)が出題されたのが特徴的である(例年は通関実務において出題)。やはり基本知識の習得が重要であると言える。

【通関実務】

満点が30点から45点に変更された。

輸出申告書は、一部の貨物の統計品目番号の確定が難解であり、また、価格が最大となる貨物(第1欄に入力すべき貨物)が同一品目番号で合算するものであったため、やや解答し難かったが、冷静に対処すれば何とか正解は導ける内容であった。

輸入申告書(10点から15点に変更)は作業量が多く、しかもこれまでにないパターン(NACCS用品目コード表、関税割当て制度)が出題されたため、時間がかかる問題であった。丁寧に作業すれば統計品目番号の確定は十分に得点できる内容であったが、 課税価格の判断が非常に難解であり、難問であったといえる。

複数選択式(5点から10点に変更)・択一式は、難問もあったが、全体的には何とか正解を導けるものが多かったと思われる。経済連携協定から2問出題されたこと、貨物分類の問題が知識よりも現場での「あてはめ(読み取り)」を重視する内容であったことが特徴的である。

計算式(5点から10点に変更)については、事前に十分な練習を積んでいれば、全問 正解することも可能な内容であった。出題の内訳は、課税価格3問、関税・過少申告加 算税額の計算各1問であった。輸入申告書が難解であったため、配点も上がった計算式 で確実に点数を取ることが重要であった。

通関実務全体としては、例年と比べて「**現場で判断する力**」を試される面があった。 しかし、やはり基本知識の積み重ねと練習によって、取るべき問題を確実に得点するこ とが重要であるといえる。

H27年度 通関士本試験問題的中度照合分析

照合優先順位 (カッコ内は略称号)

※対象は、本試験のすべての肢です。

- ① 公開模試(公)② 直前答練(直)③ 基本テキスト(TX)
- ④ 基礎答練(基) ⑤ 貨物分類暗記ノート(暗記)⑥ 応用テキスト(応用)
- ⑦ 法改正点レジュメ (法律) ※ 類…出題論点が類似している。

◆通関業法

【語群選択式】

問	項目	TAC教材
1	通関業法の目的	直1問1
2	定義	公問2・直1問3・直3問1・直4問9
3	変更等の届出	公問10・直1問15・直4問11
4	通関業者等の義務	公問3,7・直1問6,9・直3問8・直4問3,8
5	通関士の資格	公問5·直1問4,16·直2問4·直3問2·直4 問2

【複数選択式】

問	項目	TAC教材
6	定義	直3問1
7	通関業の許可	直2問1 (類)・直3問14,問16・直4問1,問15
8	欠格事由	公問11・直1問7・直2問7・直3問6・直4問7
9	通関業者の権利	公問4・直1問13・直2問2,13・直3問12 直4問12
10	罰則	直1問20・直2問19・直3問5・直4問20

【択一式】

門	項目	TAC教材
1	通関業・営業所の許可	直2問6・直3問19・直4問6,16

12	営業区域の制限	公問9・直1問12 (類)・直2問11・直3問10
13	許可の消滅と取消し	直1問12・直3問3,問16
14	通関士の設置・通関士の審 査等	公問6・直1問8・直2問8,15・直4問5,17
15	通関士の審査等	公問16・直1問2・直3問3・直4問17
16	通関業者の義務	直1問9・直4問8
17	記帳・届出・報告等	直2問5
18	税関長の確認	直 2 問14 (類)
19	監督処分·懲戒処分	直1問5 (類)・直3問13・直4問14
20	処分の手続き	公問13・直1問17・直2問17,18・直4問14

◆関税法等

【語群選択式】

問	項目	TAC教材
1	納税義務	直2問6
2	関税の確定及び納付	直 2 問18
3	輸出通関	T XP78, P102, P72
4	保税蔵置場	直1問10・直2問21・直3問26 (類)・直4問24
5	違約品等の再輸出等の戻し 税等	直1問11・直4問3

【複数選択式】

問	項目	TAC教材
6	定義	公問16 (実務)・直2問17 (実務)
7	関税の確定	公問17·直1問4·直2問17·直3問2 直4問18,19
8	関税の徴収	直2問5
9	輸入通関	直 3 問20・直 4 問18
10	輸入通関	公問1・直2問20,22・直3問3・直4問9,23
11	保税蔵置場	直1問10・直3問10,26・直4問2
12	関税の軽減・免除	公問 4,25
13	関税の軽減・免除	公問10・直3問11・直4問27
14	製造原価に基づく課税価格 の決定	T XP37, P38
15	NACCS法	T XP134, P139

【択一式】

問	項目	TAC教材
16	適用法令	直2問1・直3問16
17	輸出通関	直 3 問 9,18
18	輸入通関	直1問28・直2問9・直3問8,20
19	原産地虚偽表示等	公問1・直4問23
20	輸入許可前引取り	直1問9・直2問20・直3問3・直4問9
21	関税の軽減・免除・払戻し	直1問22・直2問23・直4問11,25
22	特恵関税等	公問5・直1問12・直3問22
23	課税価格の原則的決定方法	公問4 (実務)
24	関税定率表別表の注の規定	暗記P6, 106, 124
25	外為法・輸出貿易管理令	公問28・直2問27・直3問29
26	外為法・輸入貿易管理令	公問29・直4問29
27	不服申立て	公問14・直1問26・直4問30
28	罰則	直2問15・直3問15 (類)
29	輸入してはならない貨物	直1問28・直2問28
30	輸出してはならない貨物	直 1 問29

◆通関実務

【申告書】

問	項目	TAC教材
1	輸出申告書	直4問2輸入申告書「類(15類, 18類)」的中!!
2	輸入申告書	

【選択式】

3	輸出通関	直4問5
4	輸入通関	T XP11, 12, 48
5	関税率表上の所属	T XP112
6	事前教示制度	公問17・直2問6・直3問16・直4問6
7	オーストラリア協定	法律P7,8,13,14

【計算式】

問	項目	TAC教材
8	修正申告による関税額の計 算	直 3 問 8
9	過少申告加算税	公問8・直1問8・直2問8
10	課税価格の計算	公問12・直1問12・直2問10

11	課税価格の計算	直 3 問10
12	課税価格の計算	直 3 問12

【択一式】

問	項目	TAC教材
13	特恵関税等	直2問10・直3問10・関税法等直4問23
14	課税価格の原則的決定方法	直1問13 (関税法等)
15	関税率表上の所属	暗記P19, 44, 101, 102, 149, 164, 55, 56
16	関税率表上の所属	応用P151
17	締約国原産地証明書	T XP127